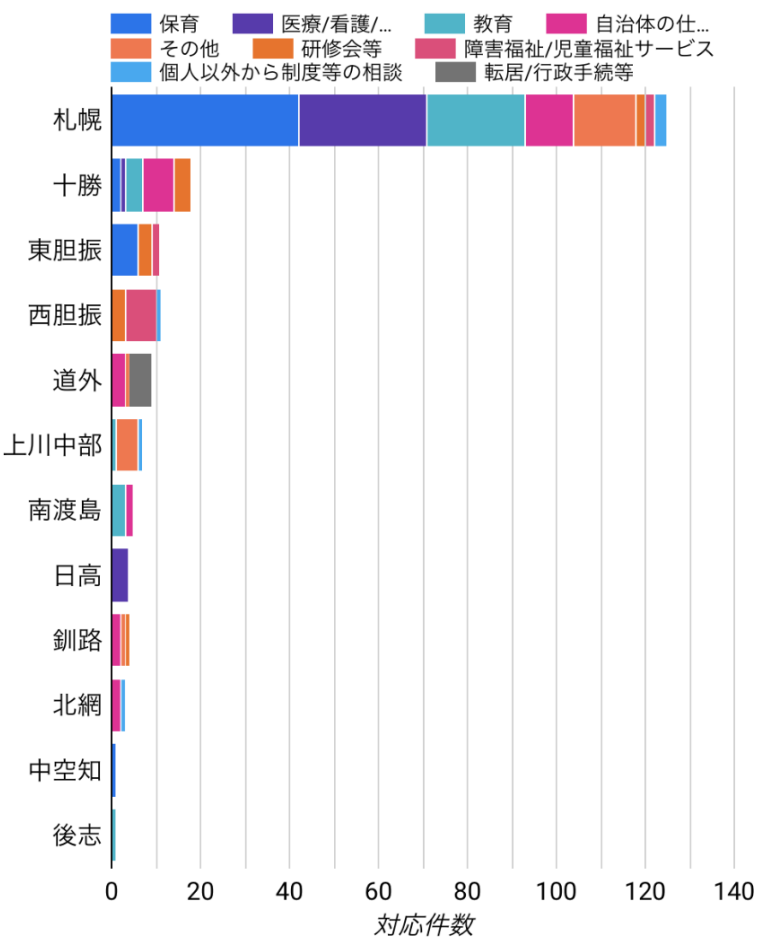
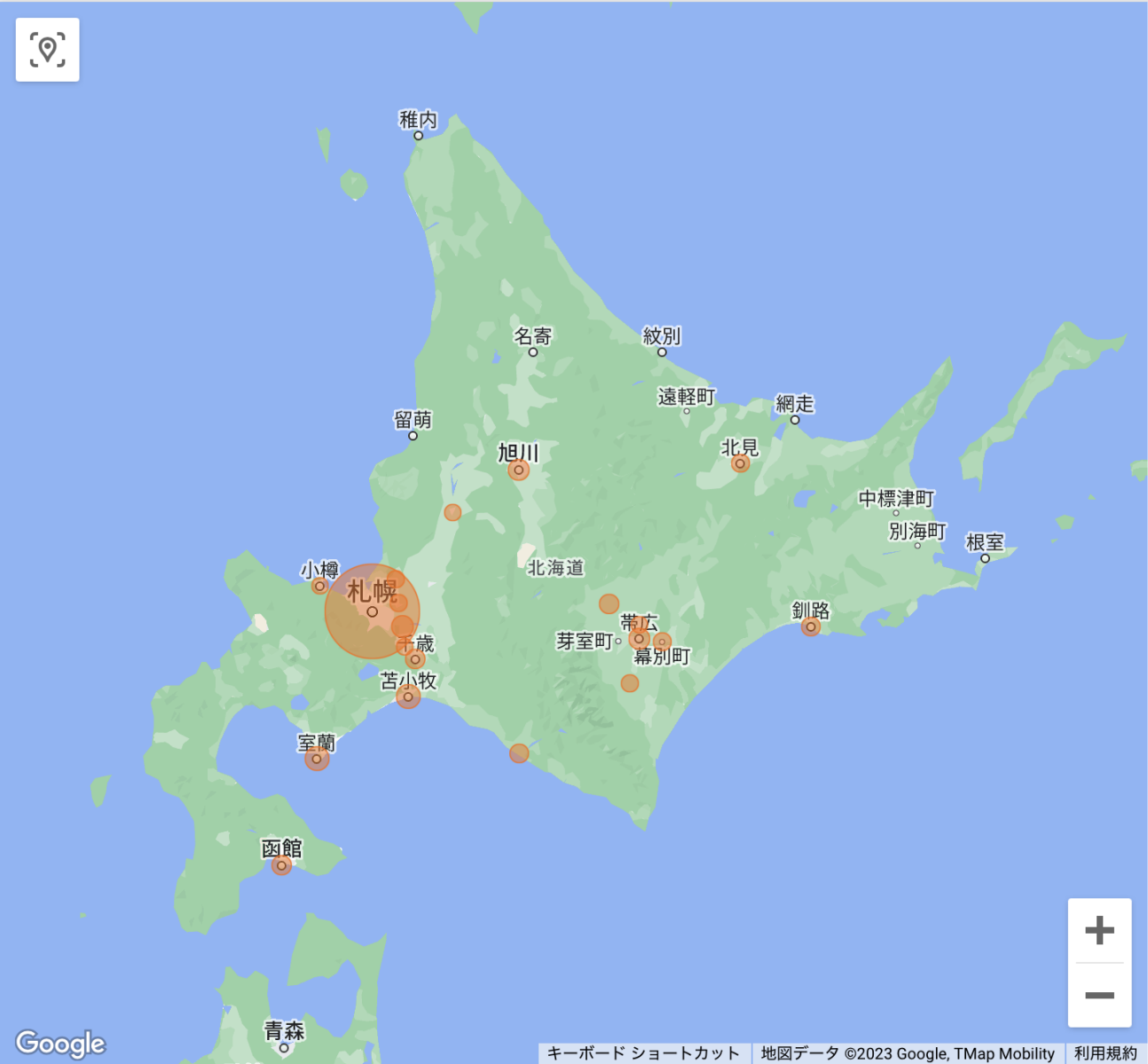
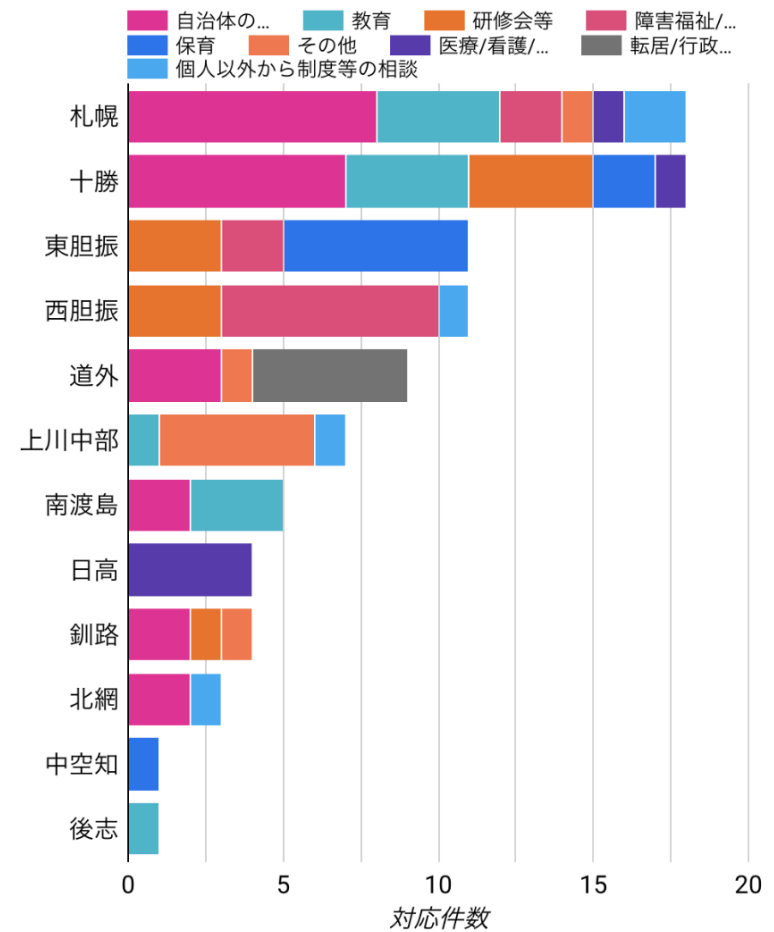
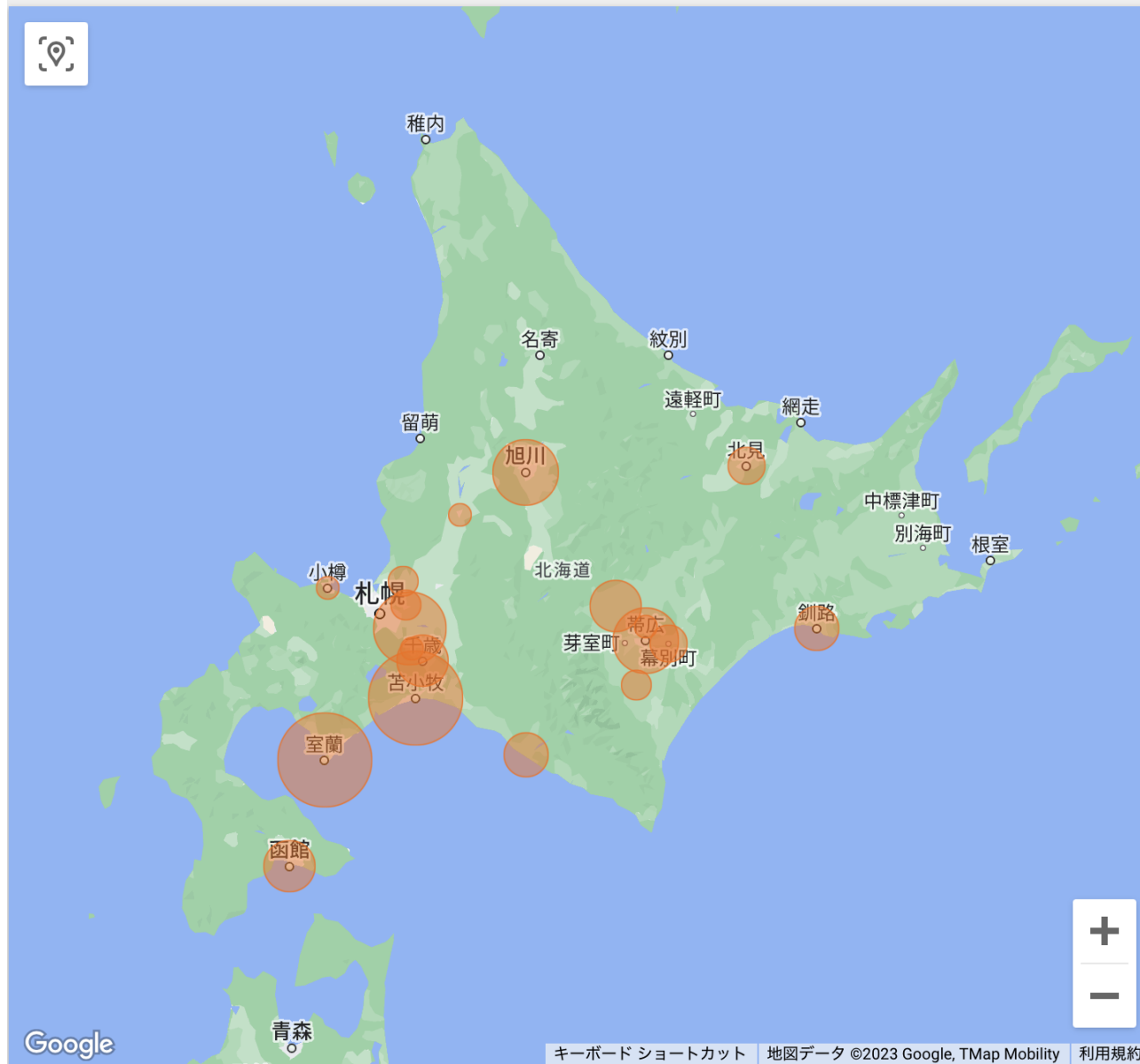


# 相談元の圏域

北海道医療的ケア児等支援センター 相談実績  
(2022年6月30日～2022年12月28日)



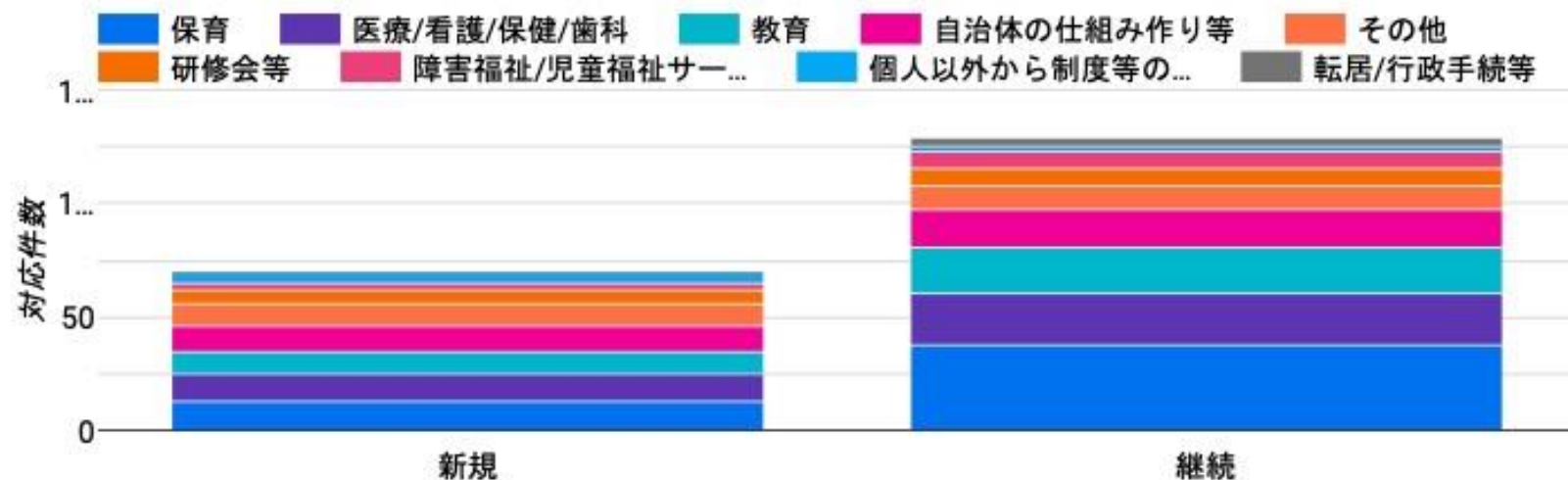
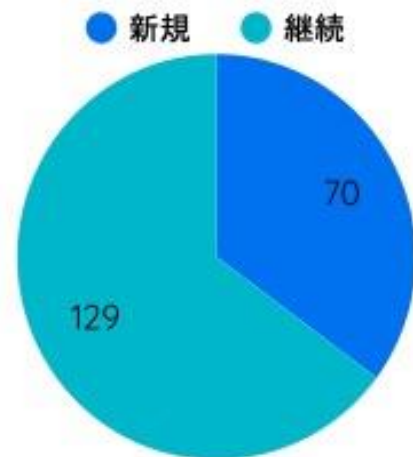
# 相談元の圏域 (札幌市を除く)



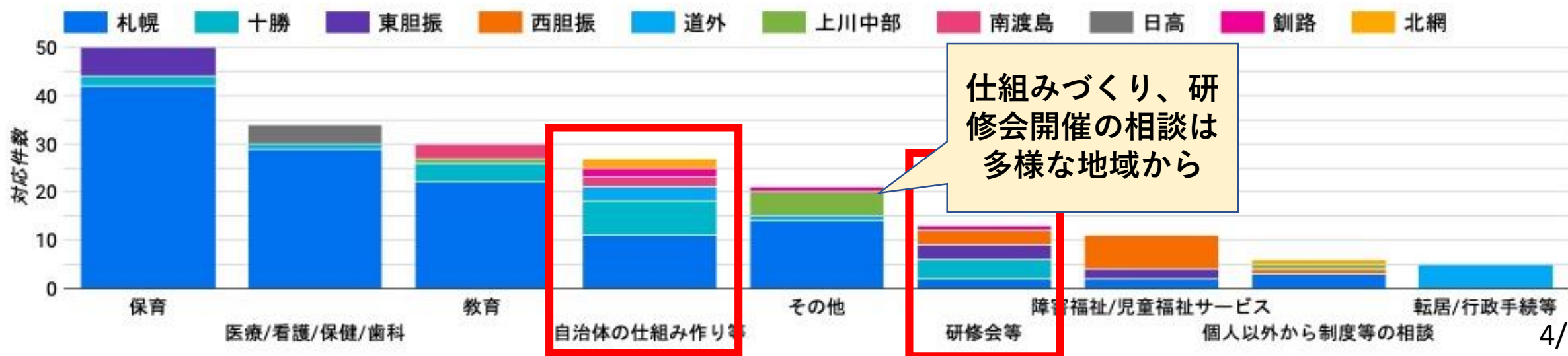
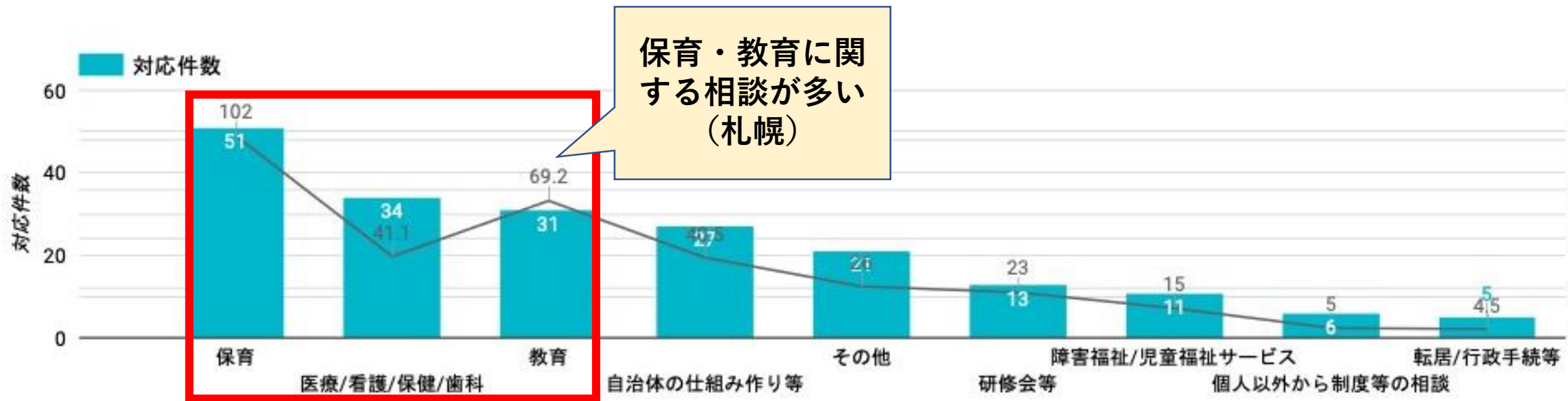
# 新規／継続

対応件数

対応件数  
199

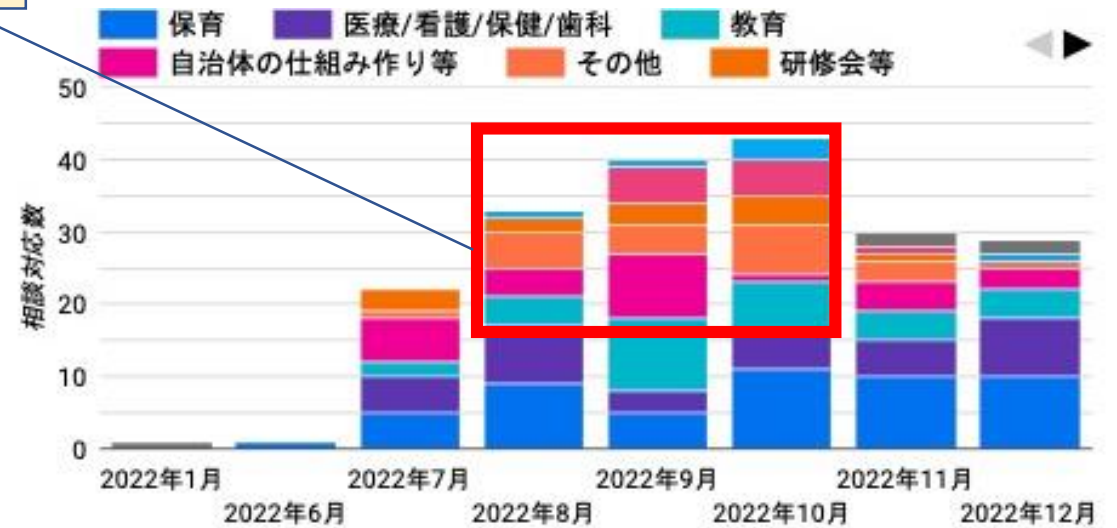
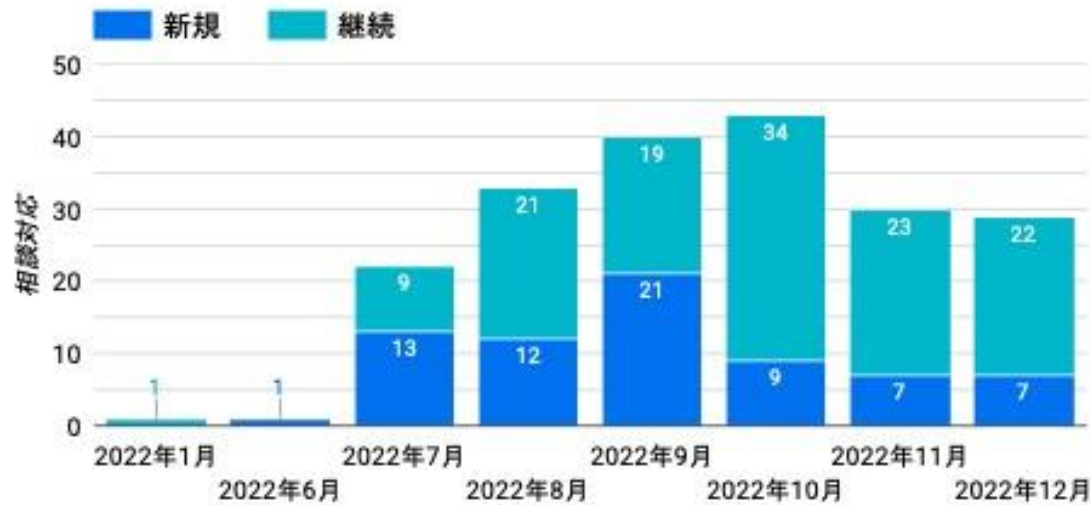


# 相談内容の領域比較



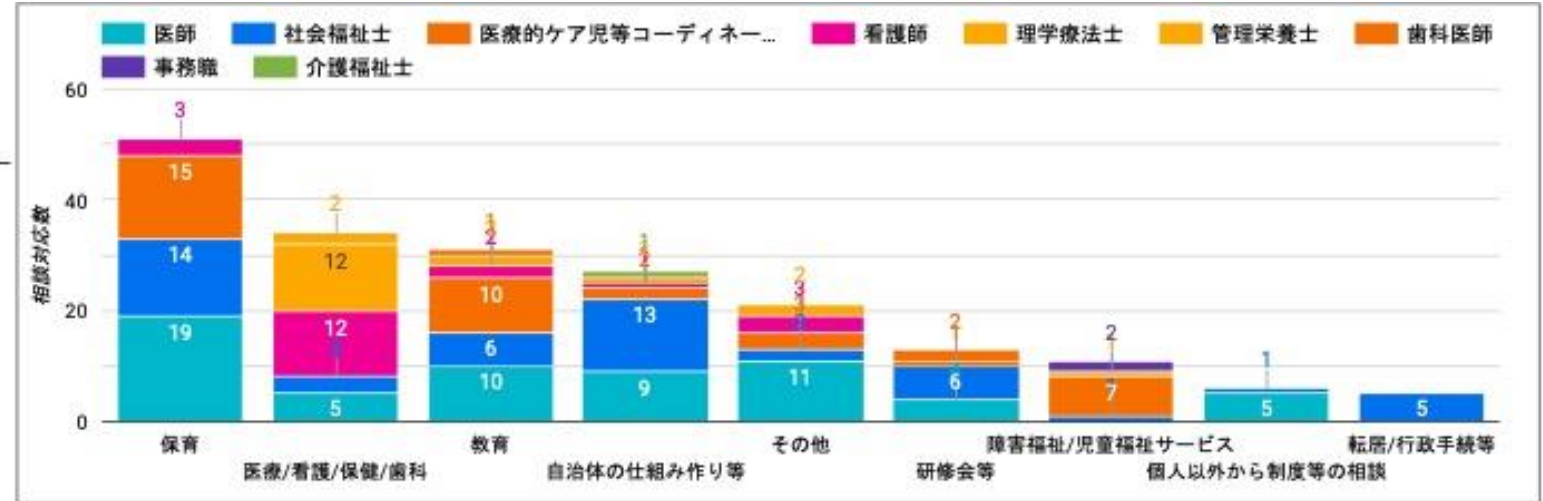
# 月別相談件数

研修会開催については  
年度半ばまでが多い

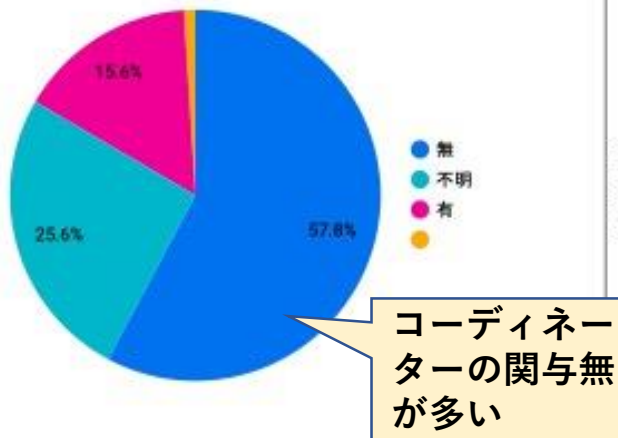


# 対応職種とコーディネーターの関与の有無

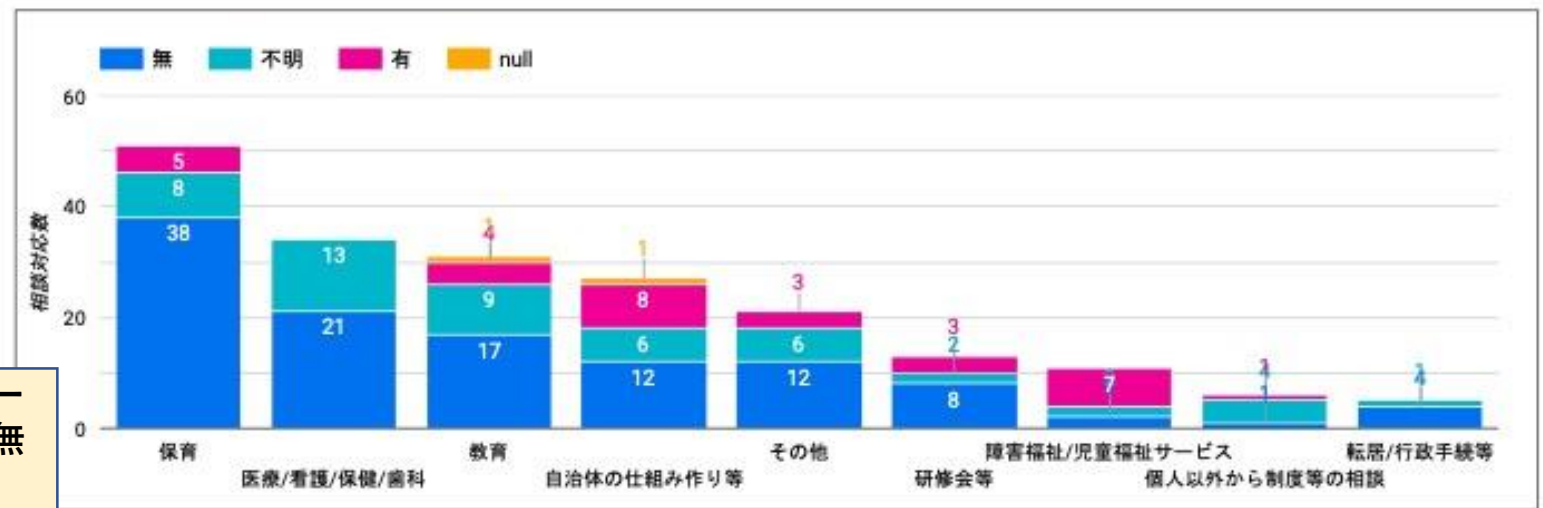
対応職種 (メイン対応)



コーディネーターの関与



コーディネーターの関与無が多い



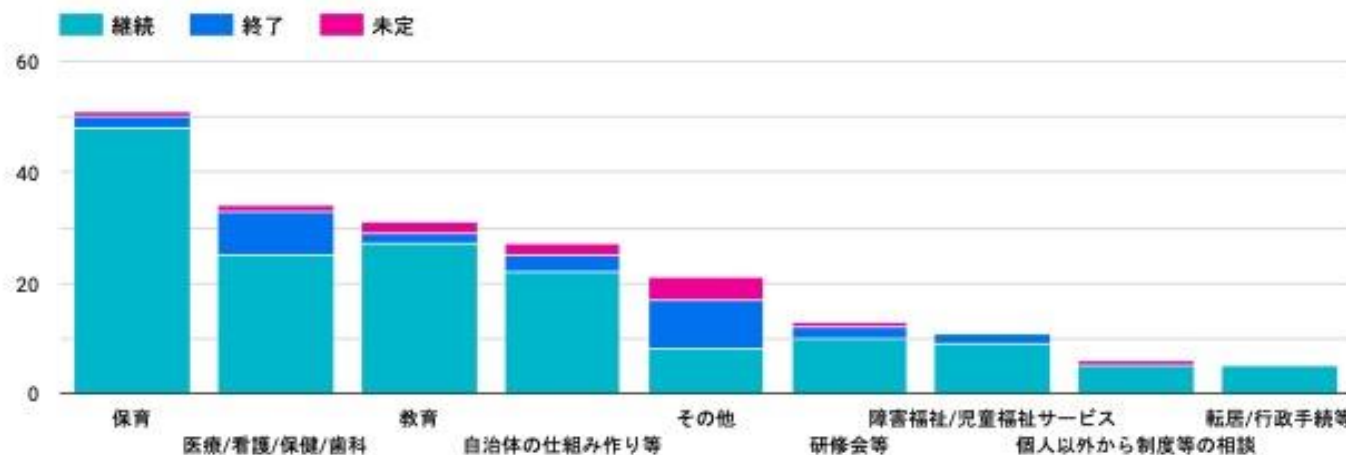
# 対応終了



多くは解決  
までに時間  
を要する

相談 - 相談内容1	相談内容に関するMemo	終了の理由
1. 新規 地域・仕組みに関する相談	取材	解決:取材終了
2. 新規 地域・仕組みに関する相談	医ケア児・者の福祉サービス一時入所(レスパイト)の情...	地域へのフォロー移行
3. 新規 特定の医療的ケア児に関する相談	入院中の児のご家族へのピアサポーターのご紹介依頼: ...	解決:ご家族と調整
4. 新規 特定の医療的ケア児に関する相談	訪問リハビリテーションを受けられるところを探してい...	解決
5. 新規 特定の医療的ケア児に関する相談	null	null
6. 新規 特定の医療的ケア児に関する相談	気管切開後の入浴方法について	解決:情報提供によ...
7. 新規 地域・仕組みに関する相談	取材依頼	解決
8. 新規 地域・仕組みに関する相談	医療的ケア児者等の防災対策について	解決
9. 新規 地域・仕組みに関する相談	講和:啓発活動	解決
10. 継続 特定の医療的ケア児に関する相談	医療的ケア児者等が利用できる地域圏の情報について取りま...	その他:現在利用中

1 - 28 / 28 < >



# 相談例 1.自治体の体制構築

- 1) 地方都市 人口10～20万人
  - 医療的ケア児支援協議会を設立して議論しているが、行政と地域の支援者の協働がなかなかうまくいかない
  - ⇒ 協議会に出席、道内の他地域の状況と比較して提言
- 2) 大都市圏周辺都市 人口5～10万人
  - 自治体から医療型短期入所のサービス基盤を整備したい。
  - ⇒道内の実態や実践例について情報提供・助言
- 3) 地方都市 人口20万人以上
  - 医療的ケア児支援の媒体づくり
  - ⇒ 札幌市版 医療的ケアが必要なお子さんと家族のための支援ガイドブックを紹介 電子版 ([https://yell-hokkaido.net/book/2022-02\\_guidebook/](https://yell-hokkaido.net/book/2022-02_guidebook/)) ⇒ 地域版の製作へ



## 相談例 2. 保育園/幼稚園/就学/進学

- 1) 保育園に入所させたい
  - 看護師配置ができた。受け入れまでの支援をしてほしい
  - ⇒ 受入までの伴走支援、保育士の3号研修の案内。
- 2) 幼稚園に入園させたい
  - 看護師配置はなし。医療的ケア児を受け入れられるか？
  - ⇒ 幼稚園教諭の3号研修の案内⇒施設登録・受入の準備の伴奏支援
- 3) 就学先について相談したい
  - 特別支援学校と地域の小学校のどちらがよいか
  - ⇒ それぞれの特徴を説明。教育委員会とも情報共有

## 相談例3. 移行期/成人期の課題

- 1) 大学通学・就労時の介護を確保したい
  - 地域生活支援事業の補助金事業について情報提供 ⇒ 行政担当部署と相談
- 2) 通院ができなくなって困っている
  - 年齢によって、病院や重症心身障害者施設での通院ができなくなることもある ⇒ 訪問診療の利用を勧める。地域の医療機関について情報提供 ⇒ 訪問診療の利用開始
- 3) 施設に入所したい
  - 家族による介護が困難となり、施設に入所したいが、医療的ケアがあつて入所先が見つからない ⇒ 圏域外の施設の情報を提供、地域の相談支援専門員と連携して入所先探し

## 相談例4. 転居

- 1) 北海道内での転居
  - 地方都市から札幌市への転居：拠点病院医師から当院医師に相談 ⇒ 当院が訪問診療開始予定として対応
- 2) 道外からの転居
  - 訪問診療機関のソーシャルワーカーより相談 ⇒ 転居前に患者家族も含めてZoom会議
- 3) 海外からの転居
  - 香港より移住希望 ⇒ 転居前1年以上にわたりZoomなどで相談対応 ⇒ 転居後、行政手続き・就学などで医療的ケア児等コーディネーターが支援